

BC
独占
取材!!

TOYOTA 2000GT 疾る!!

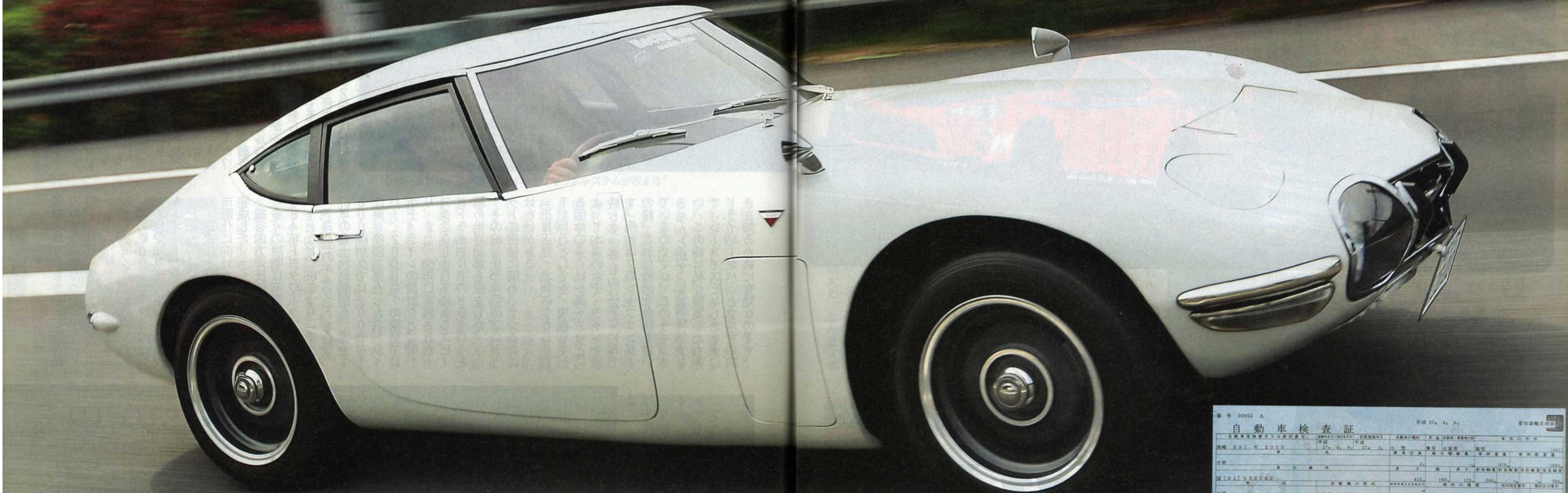
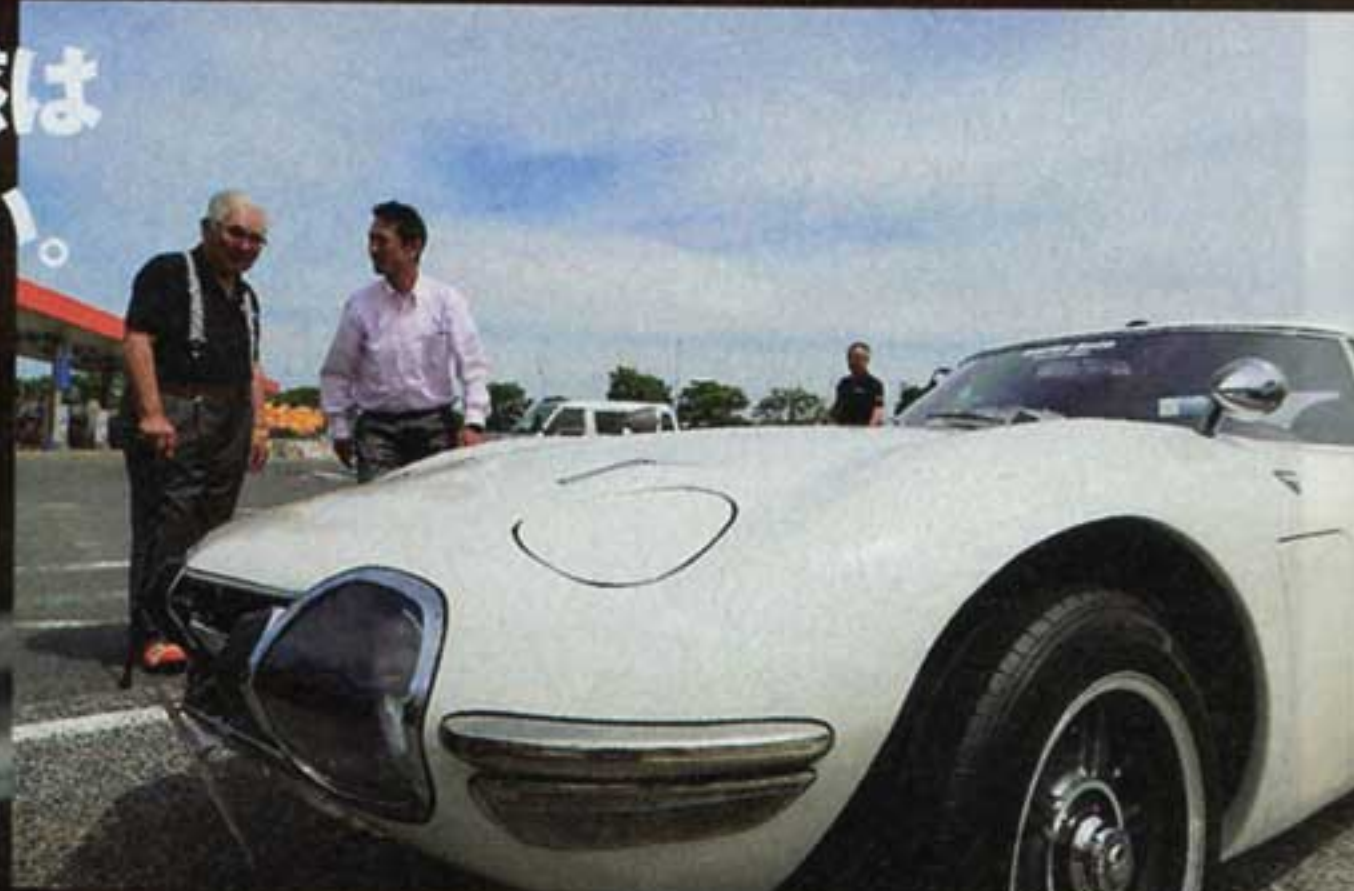
ハイブリッド 疾る!!

東名高速上り線の海老名SAに1台のコンパクトなスポーツカーがスルスルスルと入ってきた。全高は這うように低く、車幅も現代のクルマと比べたら圧倒的に狭く、その姿は見るからに小さい。
しかしその存在感は圧倒的だ。「あつ、トヨタ2000GT!!」そんな表情でそのクルマを目で追う周囲のドライバー。SA駐車スペースの一番奥に止めた瞬間、グリーンモーガンに乗る紳士がクルマを止めて駆け寄ってきた。
「カッコいいですね!!」本物の2000GT、初めて見ました。今日は運がいい!!



2000GT RHV

登場から50年を迎えた今でも、いまだその存在感は圧倒的。その流麗なフォルムは色褪せることはない。
トヨタ2000GT……
このページで紹介する2000GTは、なんとパイプフレームを組んで製作された新車で、しかも、ハイブリッドユニットを搭載するFF車なのだった!!



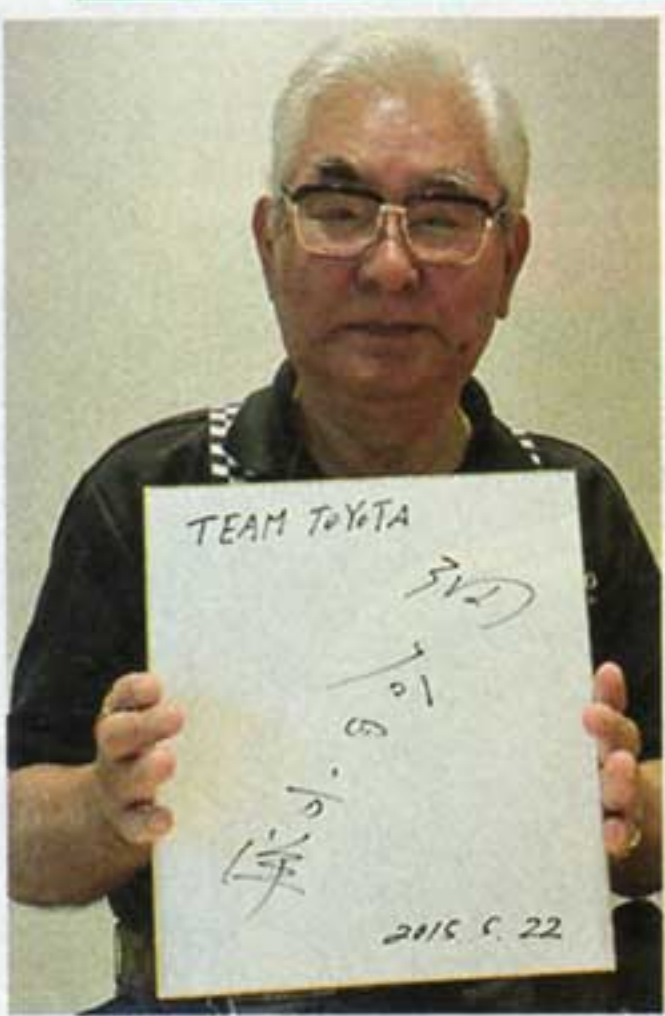
2000GT RHV 名称の由来は「ロッキーオート・ハイブリッド・ビークル」 撮影/池之平昌信

自動車検査証

車台番号	00953 A	平成 27年 4月 5日	愛知県運輸支局
型式	1NZ-1LM	1,49cc	トヨタ
登録年月日	2015年3月	登録地	愛知県
車種	乗用車	駆動方式	FF
総排気量	1,490cc	最高出力	107.2kW
最高時速	179km/h	燃費	7.8L/100km
整備の承認の有無	あり	整備済みの状態	あり
検査機関	トヨタ自動車株式会社	検査場所	愛知県豊田県豊田市

この2000GTハイブリッドの車検証。原動機は「1NZ-1LM」と記されており、総排気量は1.49ℓ。そう、アクアに搭載されるハイブリッド用エンジン。備考欄にはハイブリッド車であることが明記されている。車台番号は国交省による打刻であることが示されている

細谷四方洋氏からのプレゼント



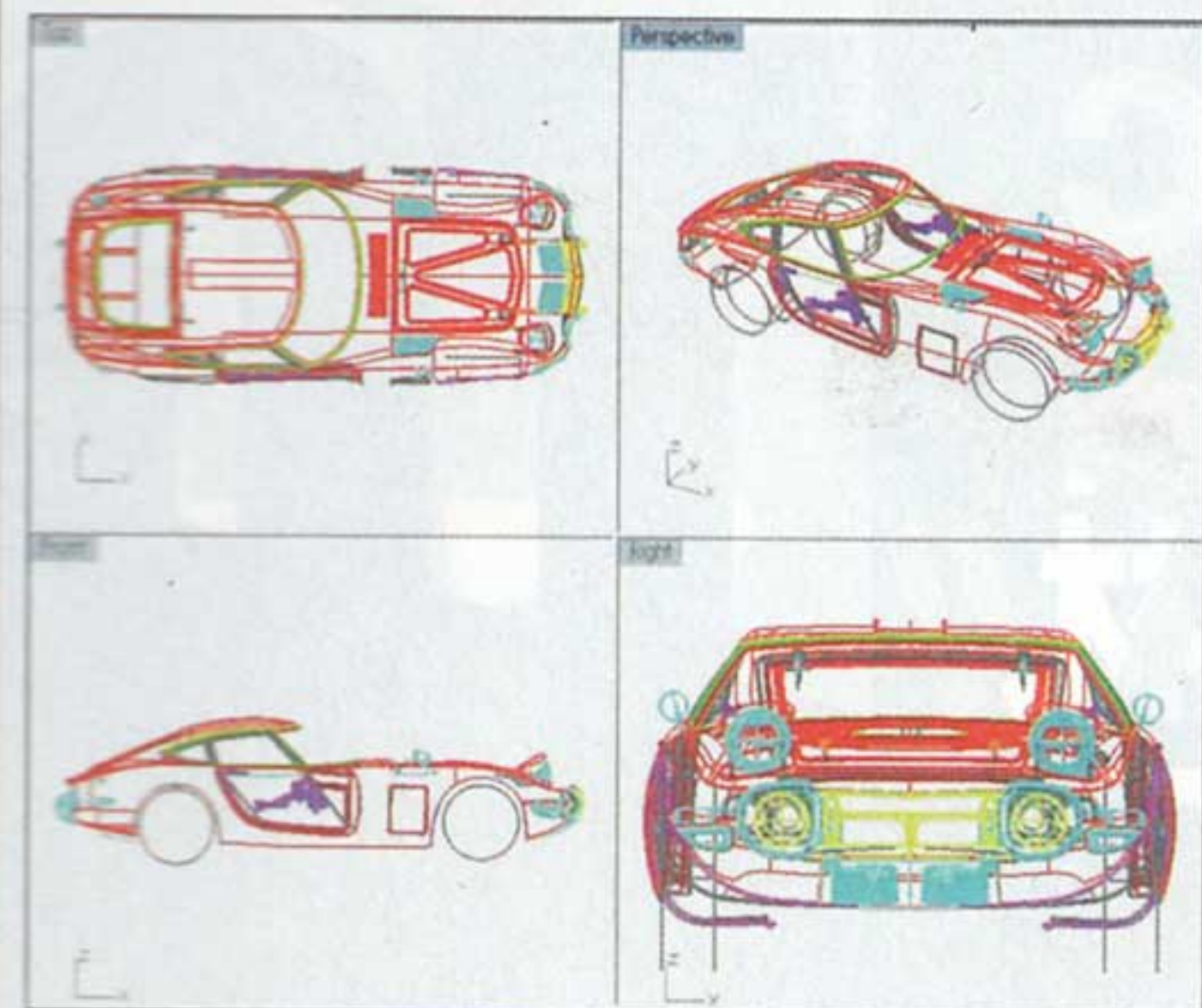
細谷四方洋氏直筆のサイン色紙と直筆サイン入りのレーシング2000GTのミニカーをセットで1名様にプレゼント。〒112-0013 文京区音羽1-2-2 第二音羽ビル5F BC編集部「2000GTプレゼント係」までハガキで!! 締め切り/6月26日(金)



アクアのステアリングホイールを装着。「あの当時マグネシウムホイールにしたのは私の失敗だった。耐久性や部品供給のしやすさを考えればアルミにすべきだった」ということでホイールは細谷氏のアドバイスでアルミとした。エンジンルームにはアクア用の1.5ℓハイブリッドシステムが収まる

2000GT RHV主要諸元

- 全長×全幅×全高 =4150×1600×1120mm
- 車両重量=970kg (前輪軸重590kg 後輪軸重380kg)
- エンジン=1NZ型 1.5ℓハイブリッド
- タイヤサイズ=175/65R15



オリジナルの2000GTのボディ外板を3DスキャンしてCADデータを作成。それをもとにFRPで成形されたボディパネルは「本物」そのものの仕上がりに



どこから見てもトヨタ2000GT。実は全幅が20mm広くなっているというところだが、実際のサイズよりも「見え方」を重視し、エッジラインなどの形状に徹底的にこだわったという。リトラクタブルヘッドライトは、このモデルではスペースの都合で開閉できない

Check Point!!

実燃費41.1km/ℓをマーク!!

愛知県岡崎市のロッキオオートから燃費トライアルをしながらやってきた2000GTハイブリッド。往路は岡崎ICから海老名SAまでの252.4km(新東名を経由)を走行し、BCスタッフが見守るなか、封印された給油口を開

ボディラインに胸を張る。このラインの再現は細谷氏のアドバイスなくして実現はできなかったという。細谷氏は試作パーツが完成すると何度も手のひらでラインを撫でるようにさり、ミリ単位で修正を繰り返して「本物」のラインを再現する

けて海老名SAでの給油量は6.69ℓだったので37.7km/ℓ!! さらに細谷氏たつての希望で復路も新東名駿河湾沿津SAから浜松SAの116.4km区間で再トライ。交通量が少なく順調に流れたこと、下り坂が多いことも手伝い2.83ℓの消費で41.1km/ℓという驚異的な燃費値をマークした。

ことに時間と労力を費やした。「現代のように3DCADなどない時代にこの空力的に優れたフォルムを完成させたことは、デザイン開発責任者だった野崎諭氏のすばらしい才能です。谷田部で実施されたスピードトライアルの当日は台風が接近し、



給油口を封印して岡崎から燃費トライアルをしながら海老名SAまでやってきた2000GTハイブリッド

「ちょうど私自身、2000GTが現代に蘇るのであればハイブリッドしかないな」と考えていたところにこのプロジェクトとの出会いがあったのです。まさに運命だったとしか言いようがない。インバータのヒューズという音とともに走り去る2000GT。まさに現代に蘇った姿である。

大雨だったのですが、2100×2200km/hという高速で走ってもタイヤがしっかりと接地してハイドロブレーキングは発生しない。横から撮影した写真を見るとフロントが浮くような不自然な姿勢になることもなく、また、巻き上げた水しぶきが後方で渦を巻くこともなく奇麗に流れているのです。これは空力的にすばらしい性能だったことを証明しています」と細谷氏は説明する。この見ただ目にも流麗で機能的でもあり、また空力的にも優れた2000GTのボディラインを後生に伝えるためにも、いま自分が「オリジナルの姿」を再現しなくてはならないと細谷氏は感じたのだ。そうして完成したのがこの2000GTハイブリッドなのだ。「ちょうど私自身、2000GTが現代に蘇るのであればハイブリッドしかないな」と考えていたところにこのプロジェクトとの出会いがあったのです。まさに運命だったとしか言いようがない。インバータのヒューズという音とともに走り去る2000GT。まさに現代に蘇った姿である。

TOYOTA2000GT SPEC

- 全長×全幅×全高=4175×1600×1160mm
- ホイールベース=2330mm
- 車両重量=1120kg
- エンジン=直列6気筒DOHC、1988cc
- 最高出力=150ps/6600rpm
- 最大トルク=18.0kgm/5000rpm
- 生産台数=国内向け218台、日本国外向け102台
- ※オリジナルのトヨタ2000GTスペック

フロントフェンダーの峰からリアフェンダーに至るラインの微妙な形状には細谷氏が徹底的にこだわってアドバイスをしたという。ロッキオオートはオーダーメイドで1680万円での2000GTハイブリッドを販売する ☎/0564-66-5488



また、ボンネットフードの先端部中央にはスットと一本の小さいエッジラインが入っているのですが、これも現存する本物では本来のラインが出ていない。このクルマのラインこそがオリジナルに最も忠実なものです」と細谷氏は徹底的にこだわった



右の写真は正真正銘完成直後のトヨタ2000GT。上の写真は'66年に実施されたスピードトライアルでの記録達成時のもの。一番右がキャプテンの細谷氏で、順に田村三夫氏、福澤幸雄氏、津々見友彦氏、鮎子田寛氏



展開された。もちろん正真正銘のハブニングだった。■本物とまったく同じジェンダーの峰とボンネットセンターのラインを再現したこの2000GTを作り上げたのは愛知県岡崎市にあるロッキオオートというショップ。やっと今回の試作モデルが完成し、正式にナンバーを取得し、市販化に向けた最終段階にまで完成した。細谷四方洋氏については今さら多くの説明は不要だろう。1964年トヨタワークスドライバーとなり、66年より一チーム・トヨタのキャプテンを務め、'67年の富士24時間耐久、富士1000km耐久では2000GTに乗り優勝を果たした名ドライバー。2000GTの開発ではボディラインの設計などに関わり、また、'66年に実施されたトヨタ2000GTによるスピードトライアルでのドライバーを務め、その世界記録を樹立した。その細谷氏が今回のプロジェクトに密接に関わっているのはわけがある。

「正真正銘、本物の2000GTだったとしても、現存している個体の多くはレストアなどによって本来のボディラインを維持しているものは少ないんです。例えばフロントフェンダーの峰。これは微妙な曲線を描いているのですが、このラインがきちんと出ている個体は少ない。この峰は私が提案したもので、レースでスピートしたときにドライバーがバツとクルマの向きを知るために有効なのです。

ベストカーは10日/26日発売です!

GT-R、RX-7、スープラなどが15%増税

13年落ち名車オーナーたちよ怒れ!

2015

7・10

ベストカー

トップ誌独走中!!
第3のコペン「Cero」
もうすぐ誕生



定価360円

講談社ビーシー/講談社

中身は
なんとアクア

TOYOTA

「2000GTハイブリッド」



今やHV
販売比率は
35.1%

走りのいいハイブリッド車選び

SCOOP

半年前に完全解説

集中
BIG
特集

プリウスPHV プリウス



カオ違いで登場!

4代目プリウス & プリウスPHV

2000万台の
欧州車続々登場

再び日欧自動車対決



S660はフェラーリ458イタリアをぶち抜いた!?

特集「柔よく剛を制せ」



初夏の新車特集

可愛いくせに35.6km/lで登場! アルトラパン



シャトル & エクストレイルHVの実燃費がわかった
いいクルマの見分け方 10カ条

ディーラー試乗 虎の巻

ダウンサイジングターボ車 TEST

ステップワゴン、オーリス、ゴルフの実力は?